



よくわかる高次脳機能障害セミナー



地域ガエル：「地域に帰る（地域リハビリテーションの推進）」がモットーの京都市地域リハビリテーション推進センターのPRキャラクター

どんな理由で脳は傷つくのか 理由による違いはあるのか

高次脳機能障害とは、脳卒中や事故などの外傷で脳が損傷をうけて認知機能が低下し、日常生活や社会生活に支障が出ている状態です。しかし認知機能全般が低下することは珍しく、接し方を誤るとご本人の尊厳を大きく傷つけることになります。脳の損傷により、どの認知機能が低下しているかを把握することがとても大切です。

そこで今回は、高次脳機能障害の原因となりうる疾患と低下する認知機能を整理し、その症状と対応について理解を深めていきます。また加齢により進行する認知症についてもふれ、介護の現場での高次脳機能障害者への対応について学びます。



講師：京都光華女子大学教授
上田 敬太 医師

令和8年3月16日(月)

13:00～15:30



開催方法：Web会議システム「Zoom」

対象：京都市内の介護保険施設、事業所職員を優先
(他領域の支援者の方も申込み可)

申込み：裏面の申込方法をご参照ください。

申込締切：令和8年3月2日(月)

費用：無料

定員：100名 ※先着順

主催：京都市高次脳機能障害者支援センター

研修受講について

- ・本研修はZoomを利用します。
- ・インターネット接続が可能なパソコン、スマートフォン、タブレット等が必要です。
- ※カメラ・マイクは不要です。※通信料は、受講者負担です。
- ※インターネットへの接続環境や技術的な障害によって、研修中に接続が切れる可能性があります。
- ※セキュリティリスクを防ぐため、フリーWi-Fiでの接続は避けてください。

注意事項

- 以下に該当する事項は、固くお断りいたします。
- 該当する行為が発見された場合は、Zoomからご退室いただきます。
- また、研修内容の盗用が発覚次第、講師の著作権・肖像権侵害として厳重に対処させていただきます。
- ・研修の録画、録音、撮影
 - ・研修の詳細内容のSNS等への投稿
 - ・資料の二次利用
 - ・Zoomの参加ID及びパスワードの無断共有

受講までの流れ

- (1) 申込み ●申込方法の申込フォームから、必要事項を入力してお申し込みください。
- (2) 受付通知 ●お申し込みいただいたメールアドレスに、申込受付完了メールをお送りします。申込受付完了メールが届かない場合は、お問い合わせください。
- (3) 資料や参加ID ●お申し込みいただいたメールアドレスに、研修資料、参加ID・パスコード等を送付します。（申込締切後に送付予定）
- (4) 研修当日 ●研修開始30分前から入室可能です。（3）の参加ID・パスコードでZoomに入室してください。
●入室の表示名は「申込者名（ひらがな、フルネーム）」にしてください。所属名は、不要です。例：「みぶはなこ」、「きょうとたろう」
※主催者は、記録及び研修運営の安全管理を目的として、研修を録画させていただきます。
- (5) 研修後 ●アンケートへのご協力をお願いします。

申込方法

申込フォームから、お申し込みください。

【申込フォームURL】 https://sc.city.kyoto.lg.jp/multiform/multiform.php?form_id=10907

※お申込みにあたって、お預かりする個人情報は、本研修以外の目的で使用しません。また、お申込みいただいた際は、上記の注意事項に同意いただいたものとみなします。



申込フォーム



高次脳機能障害の理解を深めましょう



【問合せ先】 京都市高次脳機能障害者支援センター

（京都市地域リハビリテーション推進センター高次脳機能障害支援課）

TEL (075) 925-6256 FAX (075) 925-6472



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

発行 令和8年1月
京都市地域リハビリテーション推進センター
京都市印刷物 第071866号



当センターホームページ

ぜひご参加
ください！

